

第十六回帝國議會
衆議院

北海道土功組合法案委員會會議錄(筆記)第二回

(完)

會議

明治三十五年二月十九日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

新開 貢君 鈴木 忠兵衛君 富永 準太君
佐藤 昌藏君 門馬 尙經君

出席政府委員左ノ如シ
內務書記官 白仁 武君

○委員長佐藤昌藏君 之ヨリ會議ヲ開カム

○新開貢君 是迄組合町村ニ於テ本案所定ノ如キ事業ヲ爲セシコトアリヤ

○政府委員白仁武君 然リ利害關係町村ニ於テ事業ノ大ナルモノハ組合ヲ組織シテ事業ヲナセシ事アリ

○新開貢君 實地ニ付テ見ルニ石狩川ノ堤塘ノ如キハ餘程破壊セシ場所モアルカ之等ハ本案ノ中ニ包含スルヤ

○政府委員白仁武君 之ハ全ク程度ノ問題ナリ大川ノ治水ニ關係アルモノハ國庫若ハ地方費ニ於テ負擔ス併シナカラ例ヘハ二十戸若ハ三十戸ノ農家ノミニ關係アル小川ノ治水工事ニ付テハ組合ニテ之ヲ爲スナリ

○新開貢君 本案第三條ニ所謂組合員タルヘキ者ハ如何ナル者ナルヤ

○政府委員白仁武君 之ハ第三條ニ明示シタルカ如ク其ノ組合設置地區内ニ於テ組合事業ノ爲直接利益ヲ享クル者及其利益ヲ享クル土地ヲ所有又ハ有スル者ニシテ例ヘハ東京ニ居住スル者ト雖モ組合ニ關係アル者モアラム即チ東京ニ居住スルモノカ北海道ニ於テ土地ヲ所有スルトキノ如キナリ此ノ如キ場合ニ於テハ同地ニ於ケル代理人等事實上土地ヲ占有スル者組合ニ關係スルコトトナラム

○新開貢君 貴族院ノ修正シタル理由ハ如何

○政府委員白仁武君 貴族院ニ於テハ第四條第七條第八條ヲ添入セリ而シテ第四條ヲ添入シタル理由ハ是迄組合ニ關スル法規ニ於テ組合ノ設立ニ付テ大體ノ規定ヲ有セリ然ルニ本案ニ於テハ設立ニ關スル規定ナキ爲メ形式上缺點アリトノ意見アリシニ依リ政府モ本案ノ加入ニ同意セリ第七條ハ北海道ニ於テハ議會モ起リ區制村制モ實施シ人民ノ負擔年モ増加セリ然ルニ其ノ町村民ハ多クハ移住民ニシテ日モ尙淺ク種々ノ事業ヲ爲スニ付キ其ノ負擔ノ増加ニ堪ヘサルノ事情モアル故ニ第七條ヲ添入スルノ意見アリ又第八條ニ付テハ種種ノ議論アリタルカ長官カ第五條ノ如キ強制加入ノ權ヲ有スルカ故萬一不當ノ行爲ナキヤモ計ラレサレサルカ故ニ訴願ノ途ヲ開クハ保護上至當ナリトノ意見アリタリ右何モ至當ナリト信スルカ故ニ政府ハ之ニ同意セリ

○門馬尙經君 貴族院修正ノ第八條ニ規定セル訴願ハ長官ノ強制加入ノ命令

ノミニ對スルモノナルヤ又ハ長官カ組合事業ニ對スル總テノモノナリヤ
○政府委員白仁武君 然リ長官カ組合事業ニ對スル總テノモノヲ包含スルナリ

○門馬尙經君 第七條ニ依リ補助ヲ受クヘキ組合ハ第一條ノモノノミナルヤ
○政府委員白仁武君 然リ第一條第一第二ニ規定シタル事項ヲ目的トセル組合ノミナリ

○新開貢君 第七條ノ規定ノ旨趣ニ依リ補助規定ヲ設クルノ必要アリ然シテ又之ニ對スル豫算等ハ如何ニナリ居ルヤ

○政府委員白仁武君 補助ニ關スル規定ハ道廳ニ於テ夫々規定スルノ豫定ナリ又豫算ニ付テハ來年度ニ於テハ僅少ノ金額ヲ見積レルカ故ニ此ノ法律ヲ實施スルモ其ノ組合全部ニ補助スルコトヲ得ス

○委員長佐藤昌藏君 最早質問モナキモノト認ムルヲ以テ意見ヲ述フルコトトシ貴族院送付ノ案ヲ全部議題ニ供セム

○門馬尙經君 本案ハ至當ノモノナルカ故ニ貴族院送付案ノ通可決アラムコトヲ望ム

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長佐藤昌藏君 然ラハ滿場一致ヲ以テ貴族院送付案ノ通可決シタルモノト認ム之ニテ散會セム
千時午後二時十分

明治三十五年二月十九日印刷

明治三十五年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局